

料金設定シート(初期状態)

○:有効 ×:無効

はシステムで変更不可。
はシステムで変更可能。

農家利用料金

料金加減 区分	料金 コード	項目	表示名	説明	金額	単価	料金計算区分	半日影響 区分 (夕または 朝のみ)	員外影響 区分	請求人日影響区分 例)請求人日が1人日が 通常のところ、 2人日と入力した場合	緊急影響 区分	表示 区分	作業 コード	システム 区分	
加算金	01	時間外	時間外	ヘルパーが予定時間を超過して作業した場合に、農家へ請求する1時間当たりの時間外金額を設定します。ヘルパー実績入力画面で、時間外認定農家請求時間をもとに算出します。	0	円/時間	時間単価	×	○	×	1倍/人	○	○	-	○
	02	休日	休日	休日マスタで休日として設定された日に出役した場合の、1日分の休日手当を設定します。休日マスタで休日と設定している日の出役で、通常料金に加算されます。	0	円/人日	1ヘルパー単価	○	○	×	1倍/人	○	○	-	○
	03	年末年始	年末年始	休日マスタで年末年始として設定された日に出役した場合の、1日分の休日手当を設定します。従来の休日と手当を変更したい場合に使用します。休日マスタで年末年始と設定している日の出役で、通常料金に加算されます。	0	円/人日	1ヘルパー単価	○	○	×	1倍/人	○	○	-	○
	04	昼給餌(小)	昼給餌小	小規模農家で昼給餌をした場合の1回分の金額を設定します。チェックを入れた場合、ヘルパー実績入力画面で通常料金にこの金額が加算されます。農家マスタの搾乳牛の頭数で、小規模農家かどうかを判定します。	0	円/人日	作業単価	×	○	×	-	○	○	-	○
	05	昼給餌(大)	昼給餌大	大規模農家で昼給餌をした場合の1回分の金額を設定します。チェックを入れた場合、ヘルパー実績入力画面で通常料金にこの金額が加算されます。農家マスタの搾乳牛の頭数で、大規模農家かどうかを判定します。	0	円/人日	作業単価	×	○	×	-	○	○	-	○
	06	3回搾乳	3回	3回搾乳をした場合の金額を設定します。チェックを入れた場合、ヘルパー実績入力画面で通常料金にこの金額が加算されます。	0	円/人日	作業単価	×	○	×	-	○	○	-	○
	08	基本料	基本料	ヘルパー1人派遣するのに、必要な基本料です。	0	円/人日	1ヘルパー単価	○	○	○	2倍/人	○	○	-	○
	-	農家基本料	農家基本料	組合で共通の基本料をここに設定します。農家が1人のヘルパーを1日利用する場合の基本料となります。 農家規模や農家の施設によって、基本料を個別で設定したい場合は、農家マスタにて該当農家の基本料を個別に設定してください。 農家マスタで個別に基本料を設定した場合でも、料金マスタの基本料の各区分に準じた動作をします。	(農家マスタにて 設定します。)	基本料に準じます。								○	
	16	最低請求金額	最低請求金額	農家へ請求する1日当たりの最低金額を設定します。ヘルパー実績入力画面で実績を入力するときに有効となります。設定する必要のない場合は、0を入力してください。 助成金(傷病利用、小規模、研修単独、研修応援、助成1～5)を使用する場合は、最低請求金額を使用する運用は推奨しません。0のまま運用することをお勧めします。	0	円/日	1日単価	○	×	×	1倍/人	×	○	-	○
	21	作業頭数1	作業頭数1	ヘルパーの作業で、作業頭数の単価に依存する項目を設定します。 例1) 作業する牛の種類によって単価を変えたい場合 搾乳牛400円、乾・育牛150円、哺育牛400円など	0	円/頭	頭数×単価	○	○	×	1倍/人	○	×	-	
	22	作業頭数2	作業頭数2		0	円/頭	頭数×単価	○	○	×	1倍/人	○	×	-	
	23	作業頭数3	作業頭数3	例2) 搾乳する頭数によって単価を変えたい場合 ～50頭:400円 51頭～80頭:300円 81頭～:250円	0	円/頭	頭数×単価	○	○	×	1倍/人	○	×	-	
	24	作業頭数4	作業頭数4	など。1頭当たりの金額を設定します。ヘルパー実績入力画面で入力した頭数分が計算され、料金にこの金額を加算して請求します。	0	円/頭	頭数×単価	○	○	×	1倍/人	○	×	-	
	25	作業頭数5	作業頭数5		0	円/頭	頭数×単価	○	○	×	1倍/人	○	×	-	
	31	加算1	加算1	各利用組合独自の加算金です。 半日ごとの作業実績に基づき、請求する金額を設定します。	0	円/半日	半日単価	×	○	×	1倍/人	○	×	F	
	32	加算2	加算2	例)員外の利用料を倍率ではなく定額で請求したい場合 員外加算金 1500と入力します。	0	円/半日	半日単価	×	○	×	1倍/人	○	×	G	
	33	加算3	加算3	1日分が1,500円であれば、ここでは半日ごとの金額を設定するので、加算金 750と入力します。	0	円/半日	半日単価	×	○	×	1倍/人	○	×	H	
	34	加算4	加算4	ヘルパー実績入力画面でチェックを入れた作業項目数分計算され、通常料金にこの金額を加算して請求します。チェックを入れないと加算されません。	0	円/半日	半日単価	×	○	×	1倍/人	○	×	I	
	35	加算5	加算5		0	円/半日	半日単価	×	○	×	1倍/人	○	×	J	
助成金	11	傷病	傷病	1人日当たりの傷病の助成金です。 システム上は、5日以上でなくても入力可能です。(警告がでます。) 助成金をあらかじめ利用料金から差し引いて請求する場合に、金額設定を行います。傷病手当が出た後に送金するという運用の場合は、0を設定します。	0	円/人日	1ヘルパー単価	○	×	×	1倍/人	×	○	-	○
	12	小規模	小規模	ヘルパー利用を促進するために、小規模農家に助成金を設定する場合に設定します。 単価が0円でない場合、小規模対象基準頭数を設定しておけば、助成金が算出されます。 農家マスタの搾乳牛の頭数で、小規模農家かどうかを判定します。	0	円/人日	1ヘルパー単価	○	×	×	1倍/人	×	○	-	○
	13	研修単独	研修単独	研修に対する助成金を設定します。ヘルパーが未熟で、通常料金を請求できない場合などに利用します。2段階で助成金額を設定できます。農家マスタの搾乳牛の頭数で判定します。	0	円/半日	半日単価	×	×	×	1倍/人	×	×	C1	
	14	研修応援	研修応援		0	円/半日	半日単価	×	×	×	1倍/人	×	×	C2	
	41	助成1	助成1	半日ごとの作業実績に基づき助成する金額を設定します。	0	円/半日	半日単価	×	×	×	1倍/人	×	×	K	
	42	助成2	助成2	ヘルパー実績入力画面でチェックを入れた作業項目数分計算され、通常料金にこの金額を減算して請求します。	0	円/半日	半日単価	×	×	×	1倍/人	×	×	L	
	43	助成3	助成3		0	円/半日	半日単価	×	×	×	1倍/人	×	×	M	
	44	助成4	助成4		0	円/半日	半日単価	×	×	×	1倍/人	×	×	N	
	45	助成5	助成5		0	円/半日	半日単価	×	×	×	1倍/人	×	×	O	

料金設定シート(初期状態)

○:有効 ×:無効

はシステムで変更不可。
はシステムで変更可能。

ヘルパー給与

料金加減 区分	料金 コード	項目	表示名	説明	金額	単価	料金計算区分	半日影響 区分 (夕または 朝のみ)	員外影響 区分	ヘルパー出役日数 例)朝0.5、夕0.5で1人日が 通常のところ、朝1、夕1で2人日と 入力した場合	緊急影響 区分	表示 区分	作業 コード	システム 区分	
手当	01	時間外	時間外	ヘルパーが予定時間を超過して作業をした場合に、ヘルパーの給与の時間外金額を1時間当たりの単価で設定します。 ヘルパー実績入力画面で、時間外認定ヘルパー出役時間を基に計算します。	0	円/時間	時間単価	×	-	×	1倍/人	-	○	-	○
	02	休日	休日	休日料金を設定します。 休日マスタで休日として設定された日に出勤した場合、この金額が手当となります。	0	円/人日	1ヘルパー単価	○	-	×	1倍/人	-	○	-	○
	03	年末年始	年末年始	年末年始の休日手当を設定します。 休日マスタで年末年始と設定された日に出勤した場合、この金額が手当となります。	0	円/人日	1ヘルパー単価	○	-	×	1倍/人	-	○	-	○
	04	昼給餌(小)	昼給餌小	昼給餌(小)を行った場合の1回分の作業単価を設定します。農家マスタの搾乳牛の頭数で、小規模農家かどうかを判定します。 農家の規模はシステム設定値「昼給餌基準頭数」と搾乳頭数で判断します。	0	円/回	作業単価	×	-	×	-	-	○	-	○
	05	昼給餌(大)	昼給餌大	昼給餌(大)を行った場合の1回分の作業単価を設定します。農家マスタの搾乳牛の頭数で、大規模農家かどうかを判定します。	0	円/回	作業単価	×	-	×	-	-	○	-	○
	06	3回搾乳	3回	3回搾乳を行った場合の1回分の作業単価を設定します。	0	円/回	作業単価	×	-	×	-	-	○	-	○
	07	掛け持ち	掛持	掛け持ちした回数分の金額を登録します。朝前・朝後で違う農家で作業をする、あるいは夕前・夕後で違う農家で作業をすることを掛け持ちといいます。 例: 朝前・朝後で違う農家で作業をすると掛け持ち1回。 夕前・夕後で違う農家で作業をすると掛け持ち1回。 朝前・朝後で違う農家で作業をし、夕前・夕後で違う作業で作業をすると、掛け持ち2回とカウントされます。	0	円/掛け持ち回数	作業単価	×	-	×	-	-	○	-	○
	08	臨時ヘルパー日当	日当	臨時ヘルパーの1日当たりの日当を設定します。	0	円/人日	1ヘルパー単価	○	-	×	1倍/人	-	○	-	○
	71	給与調整金1	給与調整金1	半日ごとの作業実績に基づき発生する給与の手当金額を設定します。	0	円/半日	半日単価	×	-	×	1倍/人	-	×	-	P
	72	給与調整金2	給与調整金2	ヘルパー実績入力画面でチェックを入れた作業項目数分計算され、この金額を手当てとして設定できます。	0	円/半日	半日単価	×	-	×	1倍/人	-	×	-	Q
その他	73	給与調整金3	給与調整金3		0	円/半日	半日単価	×	-	×	1倍/人	-	×	-	R
	74	給与調整金4	給与調整金4		0	円/半日	半日単価	×	-	×	1倍/人	-	×	-	S
	75	給与調整金5	給与調整金5		0	円/半日	半日単価	×	-	×	1倍/人	-	×	-	T
	-	交通費単価(専任)	-	専任ヘルパーの交通手当です。1km当たりの単価を入力します。	0	円/km	-	-	-	-	-	-	-	-	
	-	交通費単価(臨時)	-	臨時ヘルパーの交通手当です。1km当たりの単価を入力します。	0	円/km	-	-	-	-	-	-	-	-	
	-	臨時ヘルパー差引距離	-	臨時ヘルパーの交通手当が日当に含まれている場合に設定します。例えば、1日当たり40km以下だったら交通手当を支給しない場合は、40kmと設定します。	0	円/km	-	-	-	-	-	-	-	-	
	-	借上料	-	ヘルパーごとに設定します。 (ヘルパーマスタメンテで設定します。)	0	円/月	-	-	-	-	-	-	-	-	

料金設定シート(初期状態)

○:有効 ×:無効

はシステムで変更不可。
はシステムで変更可能。

農家利用料金

料金加減 区分	料金 コード	項目	表示名	説明	金額	単価	料金計算区分	半日影響 区分 (夕または 朝のみ)	員外影響 区分	請求人日影響区分 例)請求人日が1人日が 通常のところ、 2人日と入力した場合	緊急影響 区分	表示 区分	作業 コード	システム 区分
加算金	01	時間外		ヘルパーが予定時間を超過して作業した場合に、農家へ請求する1時間当たりの時間外金額を設定します。ヘルパー実績入力画面で、時間外認定農家請求時間をもとに算出します。		円/時間	時間単価	×		1倍/人		○	-	○
	02	休日		休日マスタで休日として設定された日に出勤した場合の、1日分の休日手当を設定します。休日マスタで休日と設定している日の出勤で、通常料金に加算されます。		円/人日	1ヘルパー単価			1倍/人		○	-	○
	03	年末年始		休日マスタで年末年始として設定された日に出勤した場合の、1日分の休日手当を設定します。従来の休日と手当を変更したい場合に使用します。休日マスタで年末年始と設定している日の出勤で、通常料金に加算されます。		円/人日	1ヘルパー単価			1倍/人		○	-	○
	04	昼給餌(小)		小規模農家で昼給餌をした場合の1回分の金額を設定します。チェックを入れた場合、ヘルパー実績入力画面で通常料金にこの金額が加算されます。農家マスタの搾乳牛の頭数で、小規模農家かどうかを判定します。		円/人日	作業単価	×		-		○	-	○
	05	昼給餌(大)		大規模農家で昼給餌をした場合の1回分の金額を設定します。チェックを入れた場合、ヘルパー実績入力画面で通常料金にこの金額が加算されます。農家マスタの搾乳牛の頭数で、大規模農家かどうかを判定します。		円/人日	作業単価	×		-		○	-	○
	06	3回搾乳		3回搾乳をした場合の金額を設定します。チェックを入れた場合、ヘルパー実績入力画面で通常料金にこの金額が加算されます。		円/人日	作業単価	×		-		○	-	○
	08	基本料		ヘルパー1人派遣するのに、必要な基本料です。		円/人日	1ヘルパー単価			2倍/人		○	-	○
		農家基本料		組合で共通の基本料をここに設定します。農家が1人のヘルパーを1日利用する場合の基本料となります。農家規模や農家の施設によって、基本料を個別で設定したい場合は、農家マスタにて該当農家の基本料を個別に設定してください。農家マスタで個別に基本料を設定した場合でも、料金マスタの基本料の各区分に準じた動作をします。	(農家マスタにて 設定します。)	基本料に準じます。								○
	16	最低請求金額		農家へ請求する1日当たりの最低金額を設定します。ヘルパー実績入力画面で実績を入力するときに有効となります。設定する必要のない場合は、0を入力してください。 助成金(傷病利用、小規模、研修単独、研修応援、助成1～5)を使用する場合は、最低請求金額を使用する運用は推奨しません。0のまま運用することをお勧めします。		円/日	1日単価			1倍/人	×	○	-	○
	21	作業頭数1		ヘルパーの作業で、作業頭数の単価に依存する項目を設定します。 例1)作業する牛の種類によって単価を変えたい場合 搾乳牛400円、乾・育牛150円、哺育牛400円など		円/頭	頭数×単価			1倍/人			-	
	22	作業頭数2				円/頭	頭数×単価			1倍/人			-	
	23	作業頭数3		例2)搾乳する頭数によって単価を変えたい場合 ～50頭:400円 51頭～80頭:300円 81頭～:250円		円/頭	頭数×単価			1倍/人			-	
	24	作業頭数4		など。1頭当たりの金額を設定します。ヘルパー実績入力画面で入力した頭数分が計算され、料金にこの金額を加算して請求します。		円/頭	頭数×単価			1倍/人			-	
	25	作業頭数5				円/頭	頭数×単価			1倍/人			-	
	31	加算1		各利用組合独自の加算金。 半日ごとの作業実績に基づき、請求する金額を設定します。		円/半日	半日単価	×		1倍/人			F	
	32	加算2		例)員外の利用料を倍率ではなく定額で請求したい場合 員外加算金 1500と入力します。 1日分が1,500円であれば、ここでは半日ごとの金額を設定するので、加算金 750と入力します。		円/半日	半日単価	×		1倍/人			G	
	33	加算3				円/半日	半日単価	×		1倍/人			H	
	34	加算4		ヘルパー実績入力画面でチェックを入れた作業項目数分計算され、通常料金にこの金額を加算して請求します。チェックを入れないと加算されません。		円/半日	半日単価	×		1倍/人			I	
	35	加算5				円/半日	半日単価	×		1倍/人			J	
助成金	11	傷病		1人日当たりの傷病の助成金です。 システム上は、5日以上でなくても入力可能です。(警告がでます。) 助成金をあらかじめ利用料金から差し引いて請求する場合に、金額設定を行います。傷病手当が出た後に送金するという運用の場合は、0を設定します。		円/人日	1ヘルパー単価		×	1倍/人	×	○	-	○
	12	小規模		ヘルパー利用を促進するために、小規模農家に助成金を設定する場合に設定します。 単価が0円でない場合、小規模対象基準頭数を設定しておけば、助成金が算出されます。 農家マスタの搾乳牛の頭数で、小規模農家かどうかを判定します。		円/人日	1ヘルパー単価		×	1倍/人	×	○	-	○
	13	研修単独		研修に対する助成金を設定します。ヘルパーが未熟で、通常料金を請求できない場合などに利用します。2段階で助成金額を設定できます。農家マスタの搾乳牛の頭数で判定します。		円/半日	半日単価	×	×	1倍/人	×	×	G1	
	14	研修応援				円/半日	半日単価	×	×	1倍/人	×	×	G2	
	41	助成1		半日ごとの作業実績に基づき助成する金額を設定します。		円/半日	半日単価	×	×	1倍/人	×	×	K	
	42	助成2		ヘルパー実績入力画面でチェックを入れた作業項目数分計算され、通常料金にこの金額を減算して請求します。		円/半日	半日単価	×	×	1倍/人	×	×	L	
	43	助成3				円/半日	半日単価	×	×	1倍/人	×	×	M	
	44	助成4				円/半日	半日単価	×	×	1倍/人	×	×	N	
	45	助成5				円/半日	半日単価	×	×	1倍/人	×	×	O	

料金設定シート(初期状態)

○:有効 ×:無効

はシステムで変更不可。
はシステムで変更可能。

ヘルパー給与

料金加減 区分	料金 コード	項目	表示名	説明	金額	単価	料金計算区分	半日影響 区分 (夕または 朝のみ)	員外影響 区分	ヘルパー出役日数 例)朝0.5、夕0.5で1人日が 通常のところ、朝1、夕1で2人日と 入力した場合	緊急影響 区分	表示 区分	作業 コード	システム 区分	
手当	01	時間外		ヘルパーが予定時間を超過して作業をした場合に、ヘルパーの給与の時間外金額を1時間当たりの単価で設定します。 ヘルパー実績入力画面で、時間外認定ヘルパー出役時間を基に計算します。		円/時間	時間単価	×	-	×	1倍/人	-	○	-	○
	02	休日		休日料金を設定します。 休日マスタで休日として設定された日に出役した場合、この金額が手当となります。		円/人日	1ヘルパー単価		-	×	1倍/人	-	○	-	○
	03	年末年始		年末年始の休日手当を設定します。 休日マスタで年末年始と設定された日に出役した場合、この金額が手当となります。		円/人日	1ヘルパー単価		-	×	1倍/人	-	○	-	○
	04	昼給餌(小)		昼給餌(小)を行った場合の1回分の作業単価を設定します。農家マスタの搾乳牛の頭数で、小規模農家かどうかを判定します。 農家の規模はシステム設定値「昼給餌基準頭数」と搾乳頭数で判断します。		円/回	作業単価	×	-	×	-	-	○	-	○
	05	昼給餌(大)		昼給餌(大)を行った場合の1回分の作業単価を設定します。農家マスタの搾乳牛の頭数で、大規模農家かどうかを判定します。		円/回	作業単価	×	-	×	-	-	○	-	○
	06	3回搾乳		3回搾乳を行った場合の1回分の作業単価を設定します。		円/回	作業単価	×	-	×	-	-	○	-	○
	07	掛け持ち		掛け持ちした回数分の金額を登録します。朝前・朝後で違う農家で作業をする、あるいは夕前・夕後で違う農家で作業をすることを掛け持ちといいます。 例: 朝前・朝後で違う農家で作業をすると掛け持ち1回。 夕前・夕後で違う農家で作業をすると掛け持ち1回。 朝前・朝後で違う農家で作業をし、夕前・夕後で違う作業で作業をすると、掛け持ち2回とカウントされます。		円/掛け持ち回数	作業単価	×	-	×	-	-	○	-	○
	08	臨時ヘルパー日当		臨時ヘルパーの1日当たりの日当を設定します。		円/人日	1ヘルパー単価		-	×	1倍/人	-	○	-	○
	71	給与調整金1		半日ごとの作業実績に基づき発生する給与の手当金額を設定します。		円/半日	半日単価	×	-		1倍/人	-		P	
	72	給与調整金2		ヘルパー実績入力画面でチェックを入れた作業項目数分計算され、この金額を手当てとして設定できます。		円/半日	半日単価	×	-		1倍/人	-		Q	
その他	73	給与調整金3				円/半日	半日単価	×	-		1倍/人	-		R	
	74	給与調整金4				円/半日	半日単価	×	-		1倍/人	-		S	
	75	給与調整金5				円/半日	半日単価	×	-		1倍/人	-		T	
	-	交通費単価(専任)	-	専任ヘルパーの交通手当です。1km当たりの単価を入力します。		円/km	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	交通費単価(臨時)	-	臨時ヘルパーの交通手当です。1km当たりの単価を入力します。		円/km	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	臨時ヘルパー差引距離	-	臨時ヘルパーの交通手当が日当に含まれている場合に設定します。例えば、1日当たり40km以下だったら交通手当を支給しない場合は、40kmと設定します。		円/km	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	借上料	-	ヘルパーごとに設定します。 (ヘルパーマスタメンテで設定します。)		円/月	-	-	-	-	-	-	-	-	-